

第74回日本脳神経外科学会北海道支部会
—脳神経外科におけるプロフェッショナルオートノミー—
開催のご挨拶

この度、第74回日本脳神経外科北海道支部会の会長を拝命いたしました。例年春の支部会は3月に行われますがこの時期の降雪が珍しくないことから本会の会期を平成27年4月18日(土)とさせていただき会場は北海道大学病院に隣接する臨牀大講堂とさせていただきました。4月に勤務先が変更となる先生方もおられ大変ご多忙の時節とは思いますがアクセスのよい会場ですので多数の先生方に足を運んでいただきたいと思います。



今回は会のテーマを「脳神経外科におけるプロフェッショナルオートノミー」とさせていただきました。最近医学会ではしばしば使われるようになった用語ではありますが、ごく簡単にもうしますと医師の専門職としての自律とは、1) 診療に関して外部による規制(他律)を受けないという自由を意味すると共に、2) 診療に関して、実効性のある自己規律のシステムを構築しそれに従って行動していくという義務を伴った自由をも意味していると言われています。脳神経外科医の自己規律のシステムを構築するためには脳神経外科学会が主導しプロとしての技能の教育、維持、向上の為の活動を行うべきで、支部会もその責任の一端を担うべきと考えます。

3年前から北海道支部長の命を受け地方会活性化ワーキンググループの活動を行ってまいりました。より多くの会員の支部会への参加を促すために様々な提言が行われました。そのなかから今回は上述したテーマを鑑み「若手医師への教育講演」として3名の先生方から1) STA-MCAバイパス、2) 頸椎前方固定、3) 後頭蓋窩の開頭、に関する講義をしていただきます。またシニアの先生方向けにはランチョンセミナーで徳田禎久先生より北海道の医政に関するご講演を賜ります。午後からは「北海道発の基礎・臨床研究」というシンポジウムを組ませていただきました。

どの年代の先生方が参加されても得るものが多い会とさせていただくよう鋭意準備を進めております。多数の会員の参加を心よりお待ち申し上げます。

第74回日本脳神経外科学会北海道支部会
会長 寺坂 俊介
北海道大学脳神経外科 准教授